

重ねてきたが、手持ち資金も無く不調に終わった。

3 他団体との提携による島興し事業

日本グラントワーク協会と農水省九州農政局の協力を得て、徳之島の産業振興のため、リーフ作成とアンケート調査を行った。

4 収益事業とする「こうふく電話」

通信大手企業の大福な通話料金の値下げにより、利用者メリットが無くなったので、廃止した。

3 広報活動に付いて

1 独自のドメインによるホームページを立ち上げた。

2 会報誌は一月に創刊号を発行し、年4回発行することになっていったが、役員会議でカラー印刷とし、年2回発行とすることとされた。

4 フラワープロジェクト(フラワープロジェクト担当 村岡清男)

1 16年秋・ヒカンさくら植樹(11/22~11/24)

日本さくらの会よりヒカン桜200本寄贈を受け、フラワー代表団9人を編成し郷土訪問、天城町クロスカントリーで植樹。

2 17年春・小中学校入学記念植樹(4/3~4/6)

島の小中学校新入生入学記念植樹を応援するためフラワー代表

団10人を編成し郷土訪問。各校へ沖縄産ハイビスカス苗木の配布等を行った。(35校で674本)

【Ⅱ】17年度活動方針

※Ⅱ討議結果

1 全般

1 徳之島ワイド祭りに向けての協力体制

※・関東だけではなく、関西他全国に呼びかける。

・将来、トリアスロンとの同時開催を検討する。

2 山古志交流の継続について

・闘牛応援バスツアーは、山古志でも大好評で、来年以降も来てほしいとの要請がきているので継続したい。特に来年の闘牛大会は、全国闘牛サミットが山古志村で開催され、徳之島からも人が来る予定である。(2006年9月開催予定)

3 島唄の祭典・芸能イベント

島唄の祭典は隔年開催ということになっており、今年(秋)がその年であるが、東京奄美会が運動会の予定を変更し芸能祭を実施することになったので、「夢」

振は延期し、来年開催することにした。※担当：生活文化グループ、8月に開催したい。

4 会報の継続発刊について

①1月の臨時総会で年4回発行の予定を年2回とした。創

刊号は1月22日に発行している

ので、第2号は総会終了後なるべく早い時期に発行する。

※10月に発行する。

②担当者を増員したい

原稿集め、原稿人力、広告募集他(現在の担当者：編集 松田周三)

※広報部で人選し依頼する。

③予算(300部)A4 8ページ

印刷

ファイル版 3万6750円

ダイレクト版 1万8900円(創刊号と同じ)

※配布先：「夢」振会員及び関係者、徳之島の行政・学校関係者等

5 ホームページの充実

①現在のホームページ担当者が交代を申し出られているため、後任を選任する。※宮原たつ子

②ホームページを見れば、「夢」振の動きがいつでも分かるように、

振の動きを早く掲載する。

③担当者を増員したい

掲載するための情報を収集したり、原稿を書く人や島出身者企業のホームページを探するなど資料を

収集する人等

※広報部で人選し依頼する。

④会員すべてがホームページを積極的に活用する。

※ホームページの充実のためサ

ーバーを変更する。予算5万円

6 組織の見直し

①広報をプロジェクトの中に入れる

②各グループ毎にリーダー、サブリーダーを決めて活動の活性化を図る。

※会長・事務局に一人

7 NPO法人申請について

別途、「夢」振がどのようなNPO法人をめざすのか、運営スタッフ、運営方法等々、NPO化について専門の会議をおこなう。

8 その他

会議の案内が届いたら、出欠の返事を必ず出してください。

2 フラワープロジェクト

1 島内で花苗木の供給体制をつくる。

2 植えた苗木が枯れないように管理体制をつくる。

3 植樹場所を表示し、いつでも誰でも植樹できるようにする。

4 来春も「入学記念植樹」を実施するが、予め各学校の希望をきく。

来春は小・中学校に加えて高校の新生も考慮する。

5 ふるさとフラワー基金への拠出活動を強化する。

「夢」振メンバー、島関係者にとどめず広くヤマトンチュウもターゲットに・・・。

6 フラワー代表団の編成、派遣

これまで3回の代表団派遣を行ったが、今年度は秋(ワイド祭り関連)、来春(入学記念)に加えてヤマトンチュウグループの企画等も。

7 島でのフラワーリーダーのネットワークづくりを推進する。

天城町モデルを参考にし、伊仙町、徳之島町にも提言していく。

3 生活文化グループ

1 徳之島で11月開催予定の「ワイド祭り」を支援する。

2 島唄公演を計画する。

※5~600人くらい又はそれ以下の会場にしたい。

3 ベルマーク収集

※徳之島の小学校へ送るので収集に協力おねがいます。

4 徳之島の障害者施設(ユートアイ徳之島自立支援センター、ワイドあけぼの、徳州園等)で作られている作品(牛乳パック

再利用の手すき製品、徳之島の貝殻をつかった作品、コースター等)の販売支援をする。

※・各郷友会総会での販売や一般のお店などにも販売の依頼をする。

「夢」振員の名刺をつくり、「夢」振の宣伝も兼ねて積極的に使用することとなった。